

医療従事者対象研修会

『視覚障害者・盲導犬ユーザーが 受診した際の配慮とガイド方法』

目の見えにくい、見えない方が医療機関を受診する際、医療機関では、どのような配慮をすると安心して受診を受けていただけるのか、また、福祉にどのように繋いだらよいか、研修を通してお知らせします。

実施内容（基本プログラム）

日程：希望施設とご相談（候補日をいくつかご提示ください）

場所：貴施設等

時間：90分（講義60分 実習30分）

費用：無料

方法：日本盲導犬協会職員による講師 歩行訓練士1名、盲導犬使用者1名（盲導犬1頭）

パワーポイントを利用した講義（資料配布あり）

手引きの方法等の実演（実習時間を多くとることも可能です。）

ご準備いただきたいもの：スライドを投影するためのスクリーンやテレビ画面

【お問い合わせ】

公益財団法人日本盲導犬協会富士ハーネス

〒418-0102 静岡県富士宮市人穴 381

電話：0544-29-1010 FAX:0544-54-3030

ユーザーサポート部 堀江智子 t-horie@moudouken.net

講師紹介 & 日本盲導犬協会の役割

「視覚障害当事者の立場から」普及推進部 押野まゆ

緑内障の私にとって眼科の受診は必要不可欠です。盲導犬と生活することが決まり、「来月から盲導犬と通院したいのですが、診察室に入っても大丈夫ですか？」と聞いたところ「もちろん大丈夫ですよ」と力強く応えてくださいました。診察はもちろん、採血室や点滴のための処置室など、私が利用する場所全てにおいて、盲導犬を受け入れてくださっています。家族の付き添いなく通院できるようになったことを看護師さんたちも一緒に喜んでくださったことがとてもうれしかったです。あと、LVだった学生の時にもっと早くルーペに出会えていたらとも思います。目のことで一番最初に訪れるのが眼科ですので、リハビリテーションの情報を患者さんに届けていただくと嬉しいです。

「歩行訓練士の立場から」ユーザーサポート部 堀江智子

先生に繋いでいただいた患者さんのお宅に訪問してお話しすることがあります。訪問して暮らしの中からご希望や課題を整理してご説明し、ご意向を確認して幾つかの方法をご提案します。歩行訓練士（視覚障害者生活訓練等指導員）は、視覚に障害のある方に対して視覚障害リハビリテーションを専門的に支援・訓練をしている職種です。静岡県内には、医療・教育・福祉のネットワークがあり、連携して患者様をサポートしています。これからも皆さまと一緒に患者様の QOL 向上に貢献していきたいと思っています。

公益財団法人日本盲導犬協会（富士ハーネス）

国内に 11 団体ある盲導犬育成施設のひとつで、唯一県内にある施設です。誰でも自由に見学でき、視覚障害の方への理解を促進するデモンストレーションを毎日行っています。私たちは、視覚障害リハビリテーション事業とともに、盲導犬歩行の選択肢もご提案しています。目の見えない人、見えにくい人が行きたい時に行きたい場所へいくことができるように、安全で快適な盲導犬との歩行を無償で貸与しています。